

広報

第895号

いながわ

3月

平成26年



伝統文化の「四條猪名川流包丁儀式」(町文化体育館)

特集 平成26年度 町長施政方針

いま、その先の未来へ

平成26年度 予算案まとまる! 4

しまった・こまった・たすかった!
「買え買え詐欺(劇場型詐欺)」に注意を! 19

いなが♥輪 猪名川町里山倶楽部
広根長寿会 22

瞬(ときめき) 手島鈴奈さん・楽敏さん 26

私のオススメ★ 戸隠神社本殿(肝川) 27

特派員報告 子どもとスマホとその周辺 28



ミツバチを使ってイチゴの受粉(広根地内)

平成 26 年度 町長施政方針

いま、その先の未来へ

高速道路の開通が、目前に迫っている。
 何もしなければ、本町を通過するだけの道。
 幹線道路沿道の活性化、大規模寄付用地への企業誘致・・・
 スピード感をもって事業に取り組んでいく。
 子ども達の笑顔と、未来への希望があふれるまちをつくる。
 大切な1年が、今、始まる。

猪名川町長 福田 長治



「ずっと住み続けたい まぢびくり」をめざして

2月に行われた第369回町議会定例会において、平成26年度の町政運営と重点施策について説明しました(要旨抜粋)。

昨年11月に、住民の皆様からの信頼を受け、2期目の町政を担わせていただくこととなりました。

これまでの4年間、阪神地域でも小さい町でありながら、ここにかない豊かな自然の素晴らしさと、住民の皆様の猪名川町に対する愛情を実感してきました。効率的・効果的な自治体経営を目指し、徹底した行政内部の経費削減、民間活力の活用を図るとともに、猪名川町の魅力や特性を活かしたまちづくりに取り組んでまいりました。

歳入の根幹をなす町税収入は、景気回復に期待を寄せつつも、人口の減少や地価下落の影響などにより、減少傾向が続く見込みです。

一方歳出では、公共施設の老朽化対策や、少子高齢化に伴う社会保障費の増加が見込まれるなど、今後も財政運営は厳しい状況が続くと予測されます。

厳しい財政運営の中、自治体経営においては、基礎自治

体としての役割を果たしつつ、未来に向けて夢を描き、重点を置くべき点を絞っていく見極めが必要とされています。

そして今、社会経済情勢の変化による大きな転換期を迎える中、私は、「ずっと住み続けたいまちづくり」を改めて掲げました。

この美しい猪名川町を「ふるさと」と感じ、いつまでも住み続けたい、世界にひとつしかない愛するまちをつくるため、住民の皆様、議員の皆様、また職員とともに、「オール猪名川町」の力を結集し、全力で取り組む所存でございます。



未来をみつめる計画づくり

新年度は、第五次総合計画前期基本計画の最終年度です。平成22年度より進めてきた前期基本計画の総仕上げを行うとともに、後期基本計画の策定を進めてまいります。

昨年、住民の皆様が自分たちの思い描くまちの姿を語り、その姿の実現のために何をすることが必要かを話し合う、「いながわ☆未来創造交流会」を開催しました。

住民・事業者・行政それぞれがどのような役割を担い、パートナーシップを築くことが必要であるかを考える、協働のまちづくりの新たな一歩となりました。

また、住民・事業者・行政がよりよいパートナーシップを築き、補完しながら、それぞれの持った力を発揮できるように、交流会・アンケート調査などでいただいた住民の皆様のご意見を活かしながら、新たな計画の策定を進めてまいります。

新しい、「いながわ」の風を！

本町は、今、大きな転換期を迎えています。平成28年度末供用開始を目指している新名神高速道路は、見上げるほど大きな橋脚が立ち並び、大量の土が丘を成し、日々建設が進められています。

この新たな高速道路の整備による波及効果を最大限に活かし、このまちに、人と活力を運ぶ、輝かしい未来へと続く道とするための施策を進めてまいります。

これまで、県、商工会、町の関係者により市街化調整区域活性化検討会を設置し、まちの活性化方策について、調査・研究を行ってまいりました。今後は地域の皆様と協議を進め、活性化の実現に向けて取り組んでまいります。とりわけ、主要幹線道路沿いの利活用については、実施手法を定めるなど、具体化を図るための新たな組織として、まちづくり推進室を設置してまいります。

供用開始までわずかな時間となった今、さらにスピード感をもって施策を進め、本町に新しい「いながわ」の風が吹き込むよう取り組んでまいります。

大規模開発事業の中止により町へ寄付を受けました肝川・差組地区や、寄付にかかる課題整理に取り組んでまいりました。日生ニュータウン二次開発地域については、当該地域の魅力を広く情報発信するなど、事業者の誘致に向けた取り組みを進めてまいります。

笑顔で子育てできるまち

全国的な少子化が進む中、子育てに関わる全ての方が、子育てを充実した時間として感じられる環境づく

りに取り組んでまいります。

子育て支援センターを拠点としながら、子育てに関する相談窓口の充実や子育てグループの活動支援により、地域で子どもを守り育てる環境を整備するとともに、まち全体で次世代を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。

60周年に向けて、魅力発信！

平成27年4月に、本町は町制施行60周年を迎えます。昭和30年に「猪名川町」が誕生してから、60歳という還暦の年を迎えることとなります。この節目の年を、本町の魅力を伝える絶好のチャンスと捉え、住民の皆様とともに祝いし、町内外に向け、猪名川町の良さを伝えてまいります。

新年度は準備を行うプレ期間であり、多くの住民の皆様に関心を持って参加していただけるよう取り組んでまいります。





平成26年度 予算案 まとまる!

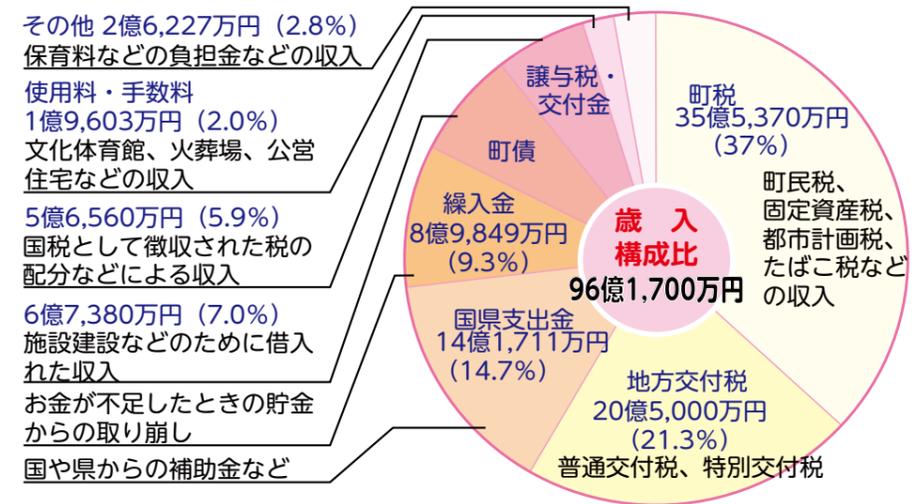
一般会計を中心にその概要をお知らせします。
この予算案は、3月26日まで開催される第369回町議会定例会で審議されています。
また、予算案の内容をまとめた「平成26年度予算の概要」は、町ホームページでもご覧いただけます。
◆予算に関する問合せ◆ 企画財政課（☎766・8711）

【総額は185億214万円】

一般会計・特別会計・企業会計の総額は185億214万円で、前年度より18億214万9千円（10・9%）増加しています（表1）。
一般会計の予算総額は96億1700万円で、給食センター施設整備事業や小・中学校の大規模改修、道路維持修繕工事などが増加するため、前年度より8億2700万円（9・4%）増加しています。

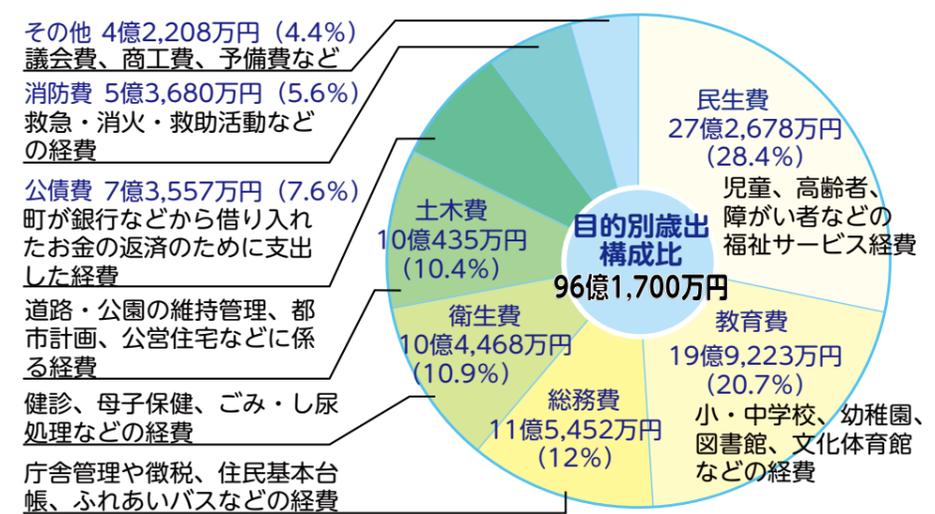
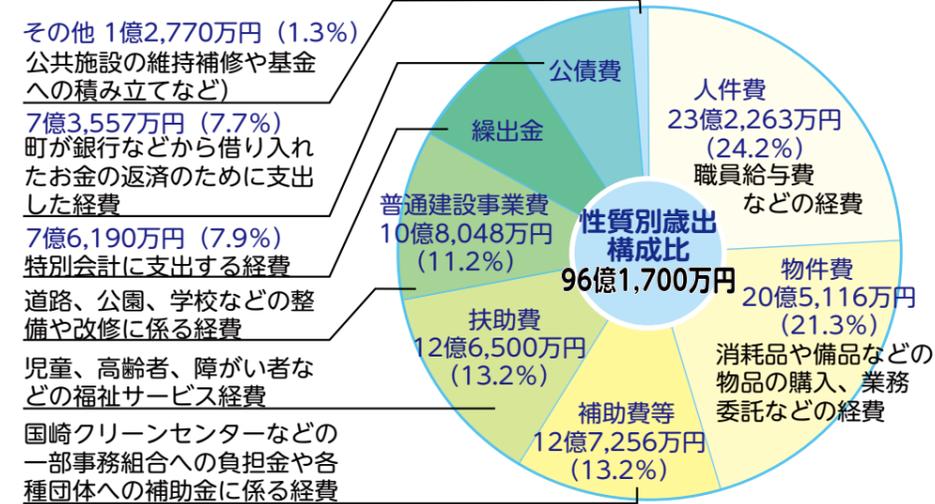
《歳入》

歳入では、町税が35億5,370万円で、納税義務者数の減少や地価下落などの影響により、前年度から6,128万円（△1.7%）減少しています。それぞれの事業を進めるために、地方交付税や国、県からの補助金などを活用していますが、それでも15億7,229万円の不足が生じています。
そのため、基金から8億9,849万円を取り崩し、町債として6億7,380万円を借り入れることで、歳入の不足額を補っています。



《歳出》

＜主な歳出＞
民生費＝臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の支給（1億3,812万9千円）、心身障がい者の施設入所等にかかる介護給付（1億6,100万円）、第3子以降の出生に対し祝い金5万円と2万円相当の農産物を贈呈（350万円）
教育費＝給食センターの施設整備（5億6,855万6千円）、幼稚園バスの買い替え（654万6千円）、学力に課題のある小・中学校に学習サポーターの派遣（54万円）
総務費＝防犯灯のLED化推進や防犯カメラの設置補助など（3,793万8千円）、ふれあいバスの買い替え（1,726万8千円）

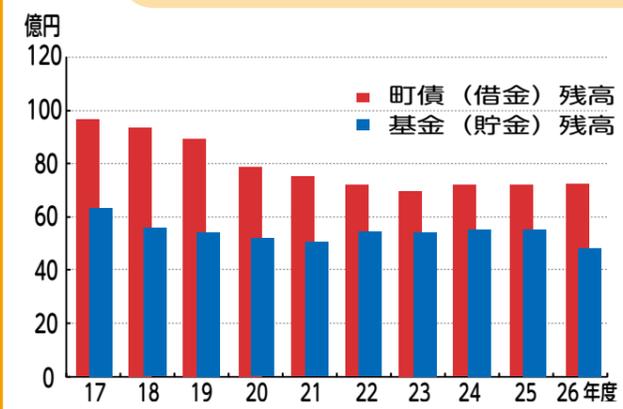


衛生費＝歯科保健事業として歯科検診に加え、歯科相談を開設（361万3千円）

表1 平成26年度 当初予算の内訳

会計名	平成26年度当初	平成25年度当初	比較	増減(%)	
一般会計	96億1,700万円	87億9,000万円	8億2,700万円	9.4	
特別会計	国民健康保険	31億6,742万円	31億4,352万円	2,390万円	0.8
	介護保険	20億1,447万円	18億8,339万円	1億3,108万円	7.0
	後期高齢者医療保険	5億8,372万円	5億4,433万円	3,939万円	7.2
	農業共済	3,729万円	3,692万円	37万円	1.0
	奨学金	966万円	966万円	0	0.0
小計	58億1,256万円	56億1,782万円	1億9,474万円	3.5	
企業会計	水道事業会計	12億7,327万円	11億2,670万円	1億4,657万円	13.0
	下水道事業会計	17億9,931万円	11億4,613万円	6億5,318万円	57.0
小計	30億7,258万円	22億7,283万円	7億9,975万円	35.2	
合計	185億214万円	166億8,065万円	18億2,149万円	10.9	

町債（借金）・基金（貯金）残高の推移



・町の借金である町債の残高は、町債の新規借入れ額が返済額を上回り、前年度から4,867万円増加し72億1,578万円となる見込みです。
・町の貯金である基金の残高は、横ばい傾向が続いていましたが、給食センター施設の整備などの財源として、基金の取り崩しを行ったため、前年度から8億6,309万円の大減となり、48億8,861万円となる見込みです。



平成26年度当初予算（一般会計）における主要事業概要



第五次町総合計画の基本構想・前期基本計画に基づいて実施する施策及び事業のうち、平成26年度の主な事業概要は、次のとおりです。
 なお、参考までに国の経済対策により平成25

年度予算に措置された事業で、平成26年度に繰り越して実施する事業のタイトルを、『青文字で（H25緑）』と記載しています。

笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川

～地域・生活～

◆防災情報システム整備事業（H25緑）

8,958万6千円

浸水の可能性が高い地域に監視モニターやスピーカーを設置することで河川を監視し、増水時に防災情報を発信するため、防災情報システムの整備を平成26年度に繰り越して実施します。



また、移動系無線も併せて整備し、災害時の職員や消防団などの通信手段として活用します。

◆防災対策事業 1,209万8千円

平成25年度からの繰越事業として整備する防災情報システムについて、供用開始に向けた手続きを進めます。また、引き続き携帯電話への緊急速報メールやいなぼうネットでの防災情報の発信をするなど災害時におけるより多くの情報伝達手段の確保に努めます。

◆人権啓発施設整備事業 1,403万8千円

人権・同和問題などの解決を目的として整備された木津総合会館および清水東会館は、老朽化と地形上の課題から、両施設を六瀬コミュニティセンターに機能移転するための準備を進めていきます。

移転に伴い行政サービス機能に加え、人権啓発拠点施設を兼ね備えた複合施設となるよう準備を進めます。

◆消防施設整備事業 6,490万2千円

複雑多様化する災害事象などに対応するため、水槽付消防ポンプ自動車を更新するとともに、老朽化した消防団の小型動力ポンプ積載車を更新し、機動力および消防力の向上を図ります。

◆防犯対策事業 3,793万8千円

◆救急活動・啓発事業 425万1千円

◆児童生徒安全対策事業 123万5千円

こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川

～環境・景観～

◆公共施設照明設備LED化推進事業

1,000万円

図書館開架室および消防署北出張所の照明設備について、ハロゲン照明灯および蛍光灯の照明器具をLED化することにより、節電や有害ごみの排出減量などの環境保全対策を進め維持経費の削減を目指します。

◆希少水生生物等保全事業 235万9千円

環境交流館を利活用し、町内に生息する希少水生生物を中心とした環境情報を発信するとともに、環境学習の場の提供を行い、環境保全の意識啓発のための事業を展開します。

◆町営住宅長寿命化計画策定 300万円

町営住宅を長期的に維持していくため、住宅の長寿命化計画を策定し、計画的に改修や修繕を行います。また、高齢者や身体障がい者にも広く住宅が提供できるよう対策を図ります。

◆水環境保全整備事業・環境保全事業

64万円

◆公園緑地の維持管理

1億1万6千円



いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川

～健康・福祉～

◆子ども・子育て支援事業計画策定

226万5千円

子ども・子育て支援の新制度が平成27年度から施行予定であり、平成25年度から2カ年をかけ、子ども・子育て支援施策を総合的に推進するための「子ども・子育て支援事業計画」を策定します。



◆多子誕生祝金事業

350万円

お子さんの誕生を祝い、健やかな成長を願うとともに、急速な少子化傾向の抑制の一助となることを期待して、第3子以降を出生されたご家庭に、祝い金5万円と町内産の農産物2万円相当を贈り、次代を担う子どもの誕生を祝福します。

◆子育て家庭ショートステイ事業

77万6千円

保護者の疾病・出産・冠婚葬祭・育児疲れなど、家庭で一時的に児童を養育できなくなった場合に、児童養護施設などで1回1週間を限度とするショートステイ事業を利用される家庭への支援を行います。

◆障害者（児）療育支援事業 953万1千円

主に障がい児童を対象とした療育訓練事業（理学療法・作業療法・言語療法）について、訓練実施の日数を週3日から週4日に拡充するとともに、より良好な訓練環境を整えるための機材の購入を行い、早期療育支援体制の充実に努めます。

◆歯科保健事業 361万3千円

◆後期高齢者医療人間ドック受診助成事業

32万4千円

◆子育て世帯臨時特例給付金支給事業

5,322万3千円

◆臨時福祉給付金支給事業

8,490万6千円

こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川

～教育・文化～

◆学校給食センター施設整備事業

5億6,855万6千円

平成25年度より事業着手している新学校給食センター整備事業について、平成26年9月より新施設において学校給食を開始します。

また、アレルギーマニュアルなどの準備が整い次第、食物アレルギーのお子さんにアレルギー対応食の提供を実施します。



◆白金小学校大規模改修事業 1,430万円

白金小学校は、平成5年に開校してから20年以上が経過しており、大規模改修事業を実施します。平成26年度は工事のための設計を行い、平成27年度から改修工事に着手します。

◆猪名川中学校大規模改修事業（H25緑）

1億2,300万円

平成25年度に猪名川中学校でトイレ改修工事、屋根・外壁改修工事を大規模改修事業の第I期分として実施しました。引き続き、一体的な改修工事の第II期分として内装改修工事（天井、内壁、床改修）を平成26年度に繰り越して実施します。

◆学習サポーター派遣事業

54万円

平成25年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」及び町教育委員会が実施している「学習到達度調査」の結果を踏まえ、学力に課題のある小・中学校に「学習サポーター」として地域の人材を派遣し、児童生徒の基礎学力の確実な定着や学習意欲の向上を図ります。

◆幼稚園バス更新事業

654万6千円

町立幼稚園の通園バスは、園児の安全な通園のために、老朽化しているバスを平成26年度に1台更新します。



◆いじめ対策事業

360万9千円

◆スポーツセンター施設備品更新事業

498万1千円